

ドイツ連邦食料・農業省 最新農林漁業情報  
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft  
NO 19  
2018・12・1

1 連邦食料・農業大臣：新しい種の砂糖開発は健全な栄養の突破口  
(2018・11・30)

連邦大臣クレックナーは、国内砂糖・脂肪・塩削減一革新戦略の分野において、さとう大根からの低カロリー砂糖の開発のための研究計画を奨励した。連邦大臣は、セロビオース・Cellobiose（訳注・セルロースを構成する糖質。難水溶性で僅かに甘味を有する）ーアルロース・Allulose（単糖の一種でカロリーが殆ど無い）のような”新しい砂糖の開発”を、Dr.テイモ コッホに対して奨励通知を手渡し支援した。彼は、食料における低カロリーの砂糖”新しい種”プロジェクトのコーディネーターである。奨励額 160 万ユーロ（約 2 億 800 万円）を、連邦革新プログラムから活用できる。

連邦大臣が説明した：多くの成人と年長青年（訳注・18~21 歳）に対して、アンバランスな栄養は太りすぎ、またはいわゆる病気をもたらす肥満症を引き起こす。我々の日常において、既成食料品の過剰摂取でもって健全な選択が常に、難しくなっている。私の”削減一革新戦略”の目的は、消費者が健全な選択を容易に選択できることである。砂糖、脂肪そして塩の割合は、既製品の中に総カロリー数でもって、低下させねばならない。

明確なことは、例えば砂糖に関して味だけでなく、食品の材質にも影響を及ぼす。甘い砂糖を簡単に止めさせることは、消費者の味覚に自動的にマッチしないし、常に食品への要求を満たすことにならない。似たようなことが、これまでも代替えの人工甘味料が知られている。そのため、砂糖によって砂糖に替えることができる。地域由来のさとう大根に替えることが、はっきりしている。そのため、私はこの 160 万ユーロを、支援すべき低カロリーの砂糖開発のために提供する。これは私の省のプロジェクトを、完全に納得させ得るものである。このプロジェクトは、食料プロセス工学の分野における真の革新である。

なぜならば、食料の味覚と材質を妨げることなく、自然な砂糖の中のカロリー含量を減少させる展望につながる。このプロジェクトは、健全でバランスある栄養のために、積極的に貢献する。これは私の表明する政治的な目標である。

## 背景：

食料の中の”カロリーの低い新しい砂糖”は、アーヘン工科大学（RWTH）、東ヴェストファーレンーリッペ単科大学、サバンナ有限会社、プファイアー・ランゲン・クリューガー有限会社とともに、研究と経済からのジョイントベンチャーである。目的はアルロースとセロビオースのような、新しい種類の砂糖に代替えることである。これはサッカロース（蔗糖）に対して、カロリー含量でもって明らかに長所を有している。

同じく糖尿病または心臓一循環病防止のような、健康上重要な特性も示している。その際、アルロースとセロビオースが、もちろん長所を有している。アルロースは、地域で栽培されているさとう大根から得られる。これは純粋な植物原料である。例えば、自然には乾燥したイチジクの実、キウイそして干しぶどうにも存在する。セロビオースは、地域で栽培されているさとう大根に存在する。これは純粋な植物原料であり、例えば自然には松葉、はちみつそしてトウモロコシに存在する。

## 2 2019年度連邦財政が最高記録に：デジタル化、研究、革新に投資 一次年度連邦食料・農業省予算案を連邦議会で審議（2018・11・20）

今日（11月20日）ドイツ連邦議会は、連邦食料・農業省（BMEL）の財政案を審議した。2019年度財政は記録的な財政規模：63億ユーロ（約8190億円）を見積もっている。これは政府草案よりも7800万ユーロ（約101億4000万円）多い。BMELの政務次官ハンス・ヨアヒム・フォイヒテルが説明した：これは農村地域において生産し、経営すること全てについての明確な価値評価の結果である。

2019年度の財政は、我々の農村のための農業―食料業界の重要性を明らかにしている。同時にBMELは、目的紛争を解決するための委託にも、より多くの農業の社会的受容のためにも尽力する。我々はこれまでように、将来的にもデジタル化、研究、革新に投資する。この財政において特に1000万ユーロ（約13億円）は、畑作戦略に計画されている。畑作戦略の目的は、例えば糞尿散布のための革新技術を奨励することである。それでもって糞尿が適切に処理され、集約的な家畜飼育地域の負担を軽減する。

さらに1 500万ユーロ（約19億5 000万円）が、BMELから家畜の福祉、環境保護と気象保護と一緒に合流するところの、家畜戦略に投資される。さらに農業と園芸におけるエネルギー効率の改善に3 140万ユーロ（約40億8 200万円）、有機農業の奨励に3 000万ユーロ（約39億円）、蛋白作物の栽培に600万ユーロ（約7億8 000万円）そして農業―食料業における革新の奨励に5 680万ユーロ（約73億8 400万円）が向けられる。

革新の先導者としてのデジタル化を促進するために、畑と畜舎でのデジタル技術単独で、1 500万ユーロ（約19億5 000万円）を計画している。農業社会福祉の確保のための財政支援は、将来的に40億ユーロ（約5 200億円）の高い水準に保たれる。

これは農業者が高齢化、介護、作業事故、病気に対して、財政的な対策を強化している。それでもって2019年財政が、自立的な農業社会福祉保険のために、明確な確認となる。9億ユーロ（約1 170億円）が、農業構造と海岸保全改善のための共同課題（GAK）の分野で活用可能である。加えてドイツの森林のためにGAKにおいて、来るべき5年間に合計2 500万ユーロ（約32億5 000万円）の財政額が準備されている。その結果、今後のククイムシ被害と干ばつ被害の克服のために、支援することができる。

さらにGAKから1億5 000万ユーロ（約195億円）が、農村発展の特別プランを促進させるために活用できる。さらに7 000万ユーロ（約91億円）が、「連邦プログラム農村発展」のために使用される。高齢者におけるバランスある栄養のテーマにもまた、財政が充当される。その額は、「バランスある栄養奨励のためのテーマ」にもまた、1 200万ユーロ（約15億6 000万円）が計画されている。

### 3 仔豚の去勢に吸入麻酔剤の方法導入（2018・11・23）

― EUで認可されているインフルランを使用―

連邦食料・農業大臣は、家畜の福祉と農業者を支援するために、連邦庁の決定と規則の通告を歓迎する。クレックナー大臣：“私はドイツの仔豚生産者が、動物保護の意味において、他の国々の仔豚生産者との競争に打ち勝つことのできることを喜んでいる。獣医薬としてのイソフルラン（Isofluran 吸入麻酔剤）については、痛み無しといった法的要請に応えることができるための重要な歩みである。

私は現代に適応した必要な規定を提示するために、今去勢に際して選択が可能となった。高度な専門家でもって農業者のために、実践的に可能となるよう公的財源を活用する。”

背景：

消費者保護と食料の安全を管轄する連邦庁が、獣医薬認可のために 2018 年 11 月 19 日の通知でもって、イソフルラン バクスター (Isofluran Baxter) を、犬、猫、馬そして豚 (仔豚) のために、吸入麻酔剤が認可された。同時に EU において、子豚の去勢に際して効果的でそして痛み無しに実施するために認可された、吸入麻酔剤が初めて使用される。動物保護に適応した条件のもとで、手術する仔豚一去勢の続行が可能となる、実践に即したさらに新しい方法が、将来的に可能となるだろう。

#### 4 仔豚の去勢に係る専門分野は 2020 年末までに廃止を支持

一連邦農業省における仔豚去勢のための円卓会議一 (2018・11・27)

連邦農業省大臣は、今日テーマ・子豚の去勢の円卓会議に専門分野の関係者を招いた。キリスト教民主同盟 (CDU) /キリスト教社会同盟 (CSU) とドイツ社会民主党 (SPD) の連邦議会代表者とともに、農業一肉業界、獣医並びに科学界の代表者もこの対話に参加した。

連邦農業大臣クレックナーは、建設的な交流を称賛した。食料チェーンの全ての段階の世界的な専門家代表が、仔豚の痛みの無い去勢のための法的に調和した代替方法を、支援することがはっきりしている。このことは、動物保護法に適応した方法への転換のための目的に沿った、次の 2 年間に活用するための決定的な成果である。大臣はその上明らかにした：移行期間のさらなる延長は、私の中にはない。

我々は私の省とともに、2021 年始めでもって仔豚の麻酔無しの去勢を実際的に終了するという、我々の可能性に向けて支援するところの、大枠条件を設定している。さらに現代に適応した規則の公布、農業者がインフルラン麻酔の導入を証明済みの専門知識でもって可能となること、実践的な代替方法はさらなる発展または消費者への説明が含まれる。しかし、次のことがはっきりしている：この転換は経営を通じてのみ実行でき、また実行されねばならない。

## 背景：

有効な動物保護法によって、2019年1月1日から仔豚の麻酔無しの去勢が禁止される。政府議員団の法草案は、麻酔無しの去勢禁止への転換のための2年間の期間延長を計画している。ドイツ連邦議会は、11月29日木曜日にこれを審議する。これまで農業者は、3つの代替方法を使用できた：

- ・若い豚の飼育（雄臭の出る前に出荷）
- ・雄豚臭に対するワクチン注射
- ・麻酔下での手術による去勢

今日の会合で局部麻酔での仔豚の去勢についても話し合われた。これは目下の科学的知見によって、動物保護法の要請に適応できない。なぜならば、これまでこの種の研究がなく、痛みの無い方法に導くことの証明がないからである。

さらなる円卓会議は、他の会議でもこのテーマに沿った方向づけに、向かっていくべきとしている。

### 5 連邦食料・農業大臣クレックナー：森林被害は劇的である

—極端な気象条件に際して予防対策を奨励—（2018・11・13）

連邦大臣クレックナーは、ラインラントプファルツ州のボッパルトでの森林所有者団体の加盟者集会で強調した：“2017/18 冬季における暴風、夏季の長く続いた干ばつ、さらにマツクイムシ虫害—これら被害がドラスティックである。そのため、私の省の財政を追加的にこの5年間に2500万ユーロ（約32億5000万円）を、承認してくれたことに国会議員に感謝したい。

これは極端な気象条件に適応し、そして被害予防のための対策を奨励するために。EUの共同課題「農業構造と海岸保全の改善（GAK）」の計画委員会の次回会議で、大臣レベルでの詳しいことが決定される。それでもってすでに2019年新しい奨励要件が導入される。私は重要な歩みを続ける。市場での大量の被害木は木材価格を低下させ、そして森林所有者の収入を明らかに減少させている”と、クレックナーは続けた。

”ラインラントプファルツ州のみで、約500000立方メートルの総被害木量が見込まれる。今年の極端な干ばつによって、クイムシがあちこちで3世代が成長し、大量発生となった。私の考えは、この理由から森林における被害の発生と進展について、継続的なモニタリングの方向に向かっている。我々は、中心的な危機管理に際して、具体的な数字を必要としている。つまり、我々は特に気象変動に対する森林の適応に際して、森林所有者を財政的により強く支援する。

特に気象保護に際して問題解決の基本的部分であることから、このことについて我々は強い関心をおいている。我々の森林と持続的な木材利用は、毎年約1億2700万tの二酸化炭素の負担を大気から軽くしている。これはドイツ全体の温室効果ガス放出の14%の規模である。”

### 背景：

ドイツ国土の1/3は森林で覆われている。森林の半分以上弱が民有林で、残りが地方自治体、州そして連邦の所有である。森林は農村地域の経済モーターである：ドイツにおいて約100万人の就業者が収入を得ており、そして林業—木材業—紙業において、125000社で約1780億ユーロ（約23億1400万円）の売り上げを得ている。

森林は価値多いブナ、カシ、トウヒ、マツそしてベイマツでもって、高品質な経済圏になっている。GAKの奨励率は、木材貯木場の施設、林道建設、被害地の再植林の支援を通じて、被害を受けた経営に可能性を提供する。前提条件は、各州がこの政策を自らの奨励指針の中で実践することである。その上林業経営は農業経営と同じように、税務署に税の猶予と軽減申請の可能性がある。これは社会福祉のための負担金の猶予に関しても、同じく有効である。

2018・11・30 訳 青森中央学院大学 中川 一徹
-----------------------------------